

株式会社アバールデータ

2013年3月期 第1四半期業績説明会

(2012年8月23日 日本証券アナリスト協会)

会社概要と業績報告

中期経営計画概要



ご報告内容

1. 会社概要
2. 2013年3月期(第54期)
第1四半期業績報告・業績予想
3. 2012年 中期経営計画概要
4. 参考資料



株式会社アバールデータ 会社概要 2013年3月期



私たちは、お客様に「価値(value)」を提供し「信頼」を獲得します。

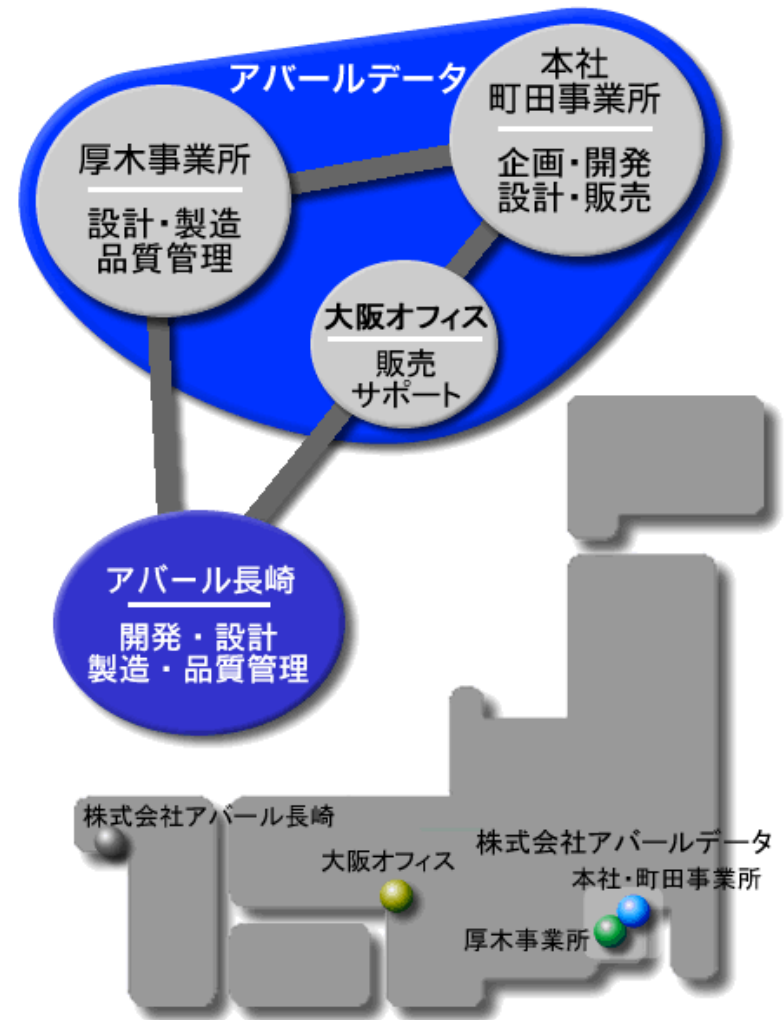
株式会社アバールデータ

本社・町田事業所 東京都町田市旭町 1-25-10
 厚木事業所 神奈川県厚木市金田 1041
 代表取締役 嶋村 清
 会社設立 1959年8月
 資本金 23億5,409万円
 従業員 175名
 JASDAQ店頭公開 1991年
 ISO9001認証取得 1995年
 ISO14001認証取得 2001年



株式会社アバール長崎

本社 長崎県諫早市津久葉町6-42
 情報機器営業部 神奈川県厚木市中町4-10-2
 代表取締役 川浪 義光
 会社設立 1987年11月
 資本金 1億3,400万円
 従業員 125名
 ISO9001認証取得 1996年
 ISO14001認証取得 2006年



- | | | |
|------|---|---|
| 1959 | ● | 応用電子研究所を母体に東洋通信工業株式会社(東京・渋谷区)を設立 |
| 1979 | ○ | 初の自社製品ポータブルタイプのPROMプログラマ「Pecker」を開発・発表 |
| 1985 | ○ | 68000プロセッサを搭載したVME busボードコンピュータを開発 |
| 1987 | ● | 自社製品の開発・製造拠点として「株式会社アバール長崎」を設立 |
| 1988 | ○ | 画像処理製品の開発プロジェクトを発足 |
| 1989 | ● | 社名を「株式会社アバールデータ」に変更 |
| 1991 | ● | 店頭銘柄として新規登録(現JASDAQ) |
| 1996 | ○ | (株)アバール長崎:CTI製品を初めて国産化 |
| 2003 | ● | (株)アクセルと画像描画・伸張LSI応用システム製品事業の協業で合意 |
| 2007 | ○ | PCI ExpressブリッジLSIを開発、自社製品への組み込みと単体のサンプル出荷開始 |
| 2010 | ○ | (株)アバール長崎:「スマートパワーシステム」シリーズ、販売開始 |
| 2010 | ○ | PCI Expressブリッジ用高性能FPGA IPを開発 次世代自社及び受託製品への組み込み開始 |
| 2011 | ○ | 日本インダストリアルイメージング協会CoaXPress国際基準画像処理モジュール、販売開始 |

関連事業分野と利用製品

世の中の商品とつながっているアバールデータの製品

アバールグループ



アバールグループの製品

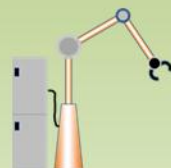
半導体/液晶
製造装置

検査装置
計測機器

F A 用
制御機器

通信機器
関連機器

電力/鉄道
省エネ機器



アバールグループの製品が組込まれた機器(製造装置)

半導体
LSI(BGA)

携帯電話

PC

TV

車



アバールグループの製品が組込まれた機器で製造された製品(最終製品)

産業用装置

高信頼性(止まらない)

高速性(大容量のデータ)

長期供給(製品寿命)



さまざまな使用環境

24時間フル稼働

長期間運用(15年~30年)

工場・公共施設等

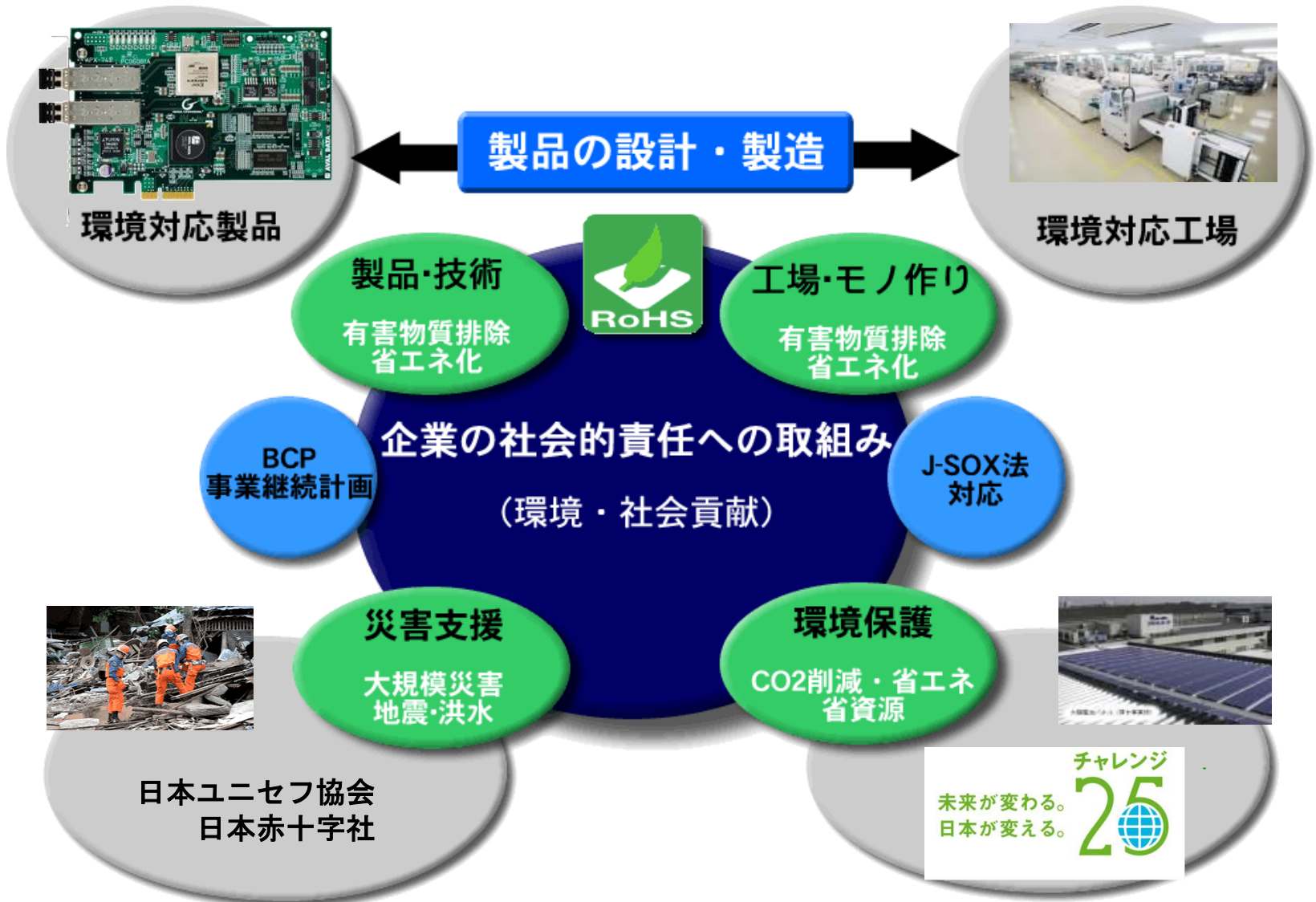
「組み込み製品」とは？

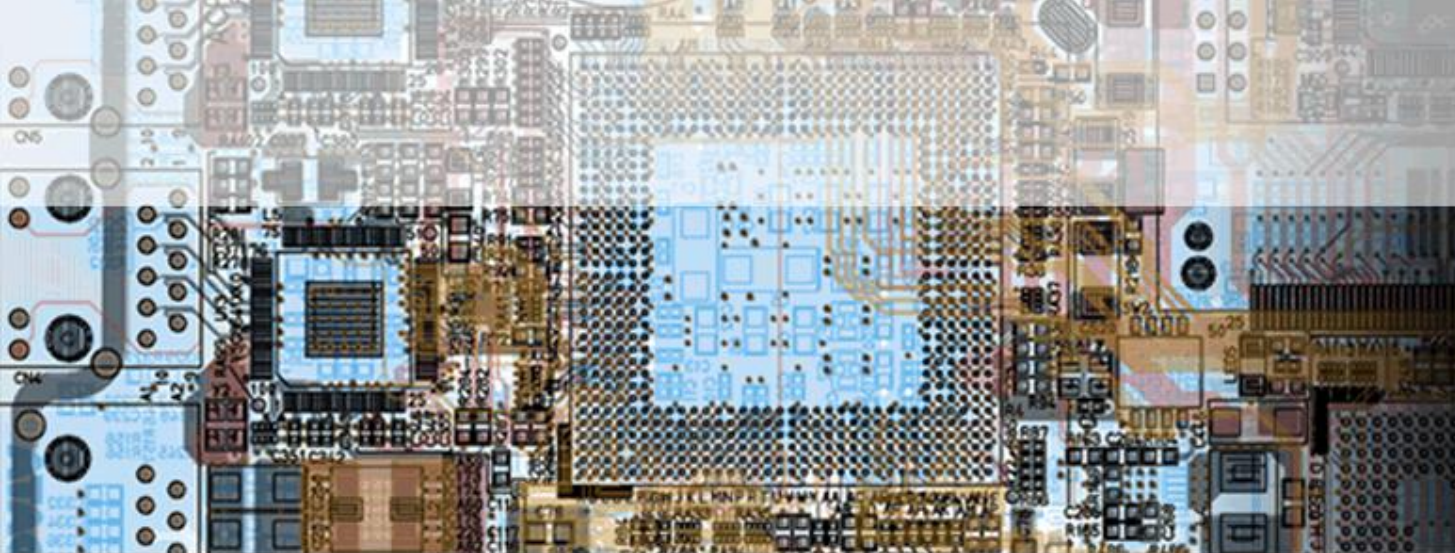
アバールデータの主要なビジネスである組み込み製品の「組み込み」とは何でしょうか？



産業用機器には、
コンピュータやカメラ、モーターなど
様々な「組み込み製品」が
使われています。

CSR経営（企業の社会的責任への対応）





2013年3月期（第54期）

第1四半期業績報告・業績予想

2013年3月期 第1四半期業績(連結)

単位:百万円(百万円未満四捨五入)

項目		第54期2012年4-6月期 (第1四半期)実績		第54期2012年4-9月期 (第2四半期累計)計画		第54期2013年3月期 (通期)計画	
品目	項目	売上	前年同期 増減率	売上	前年同期 増減率	売上	前年同期 増減率
自社製品	組込みモジュール	114	-41.0%	282	-18.6%	585	-0.8%
	画像処理モジュール	170	-5.6%	300	-9.3%	640	2.2%
	計測通信機器	259	61.2%	403	12.5%	915	5.1%
	自社製品関連商品	24	-45.1%	70	-10.2%	140	9.4%
	小計	568	-1.9%	1,055	-5.3%	2,280	2.9%
	セグメント利益	84	-29.1%	—	—	—	—
受託製品	半導体製造装置関連	507	-48.1%	1,285	-15.9%	2,720	-7.1%
	産業用制御機器	171	-2.5%	375	1.7%	780	11.8%
	計測機器	231	31.1%	385	12.4%	770	9.0%
	小計	909	-31.6%	2,045	-8.6%	4,270	-1.5%
	セグメント利益	124	-43.6%	—	—	—	—
売上合計		1,477	-22.6%	3,100	-7.5%	6,550	0.0%
営業利益		80	-61.3%	225	-17.2%	550	4.3%
経常利益		99	-58.5%	240	-21.9%	580	-0.7%
当期純利益		50	-71.4%	150	-35.5%	365	-10.3%

(注) 連結各セグメント利益合計208百万円と営業利益80百万円との差額128百万円はセグメントに属さない全社費用等。

2013年3月期 第1四半期 品目別売上高の状況(自社製品)

◆ 組み込みモジュール分野(自社製品)

- FA全般及び半導体製造装置関連の受注が減少し、売上高は大幅に減少。

→売上高 114百万円(前年同四半期比41.0%減)



◆ 画像処理モジュール分野(自社製品)

- 新製品の立ち上がりに加え、新分野での営業開拓が順調に進んだ一方、FA全般及び液晶関連装置が低迷。

→売上高 170百万円(前年同四半期比5.6%減)



◆ 計測通信機器分野(自社製品)

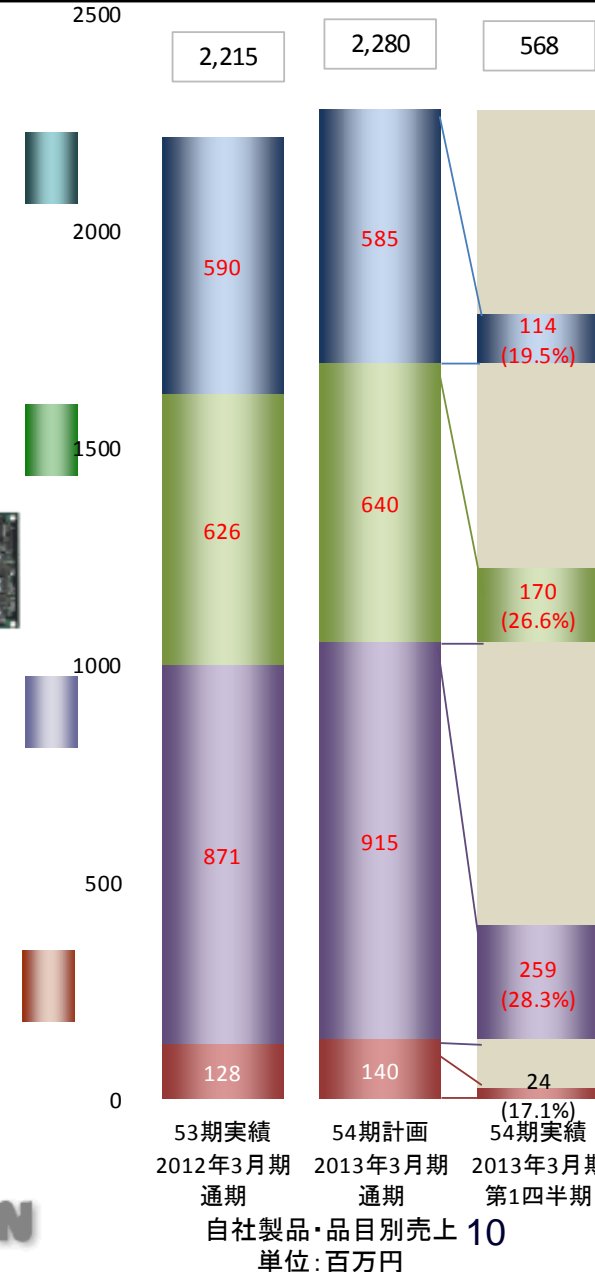
- 超高速シリアル通信モジュール「GiGA CHANNEL」は、新製品の開拓が大きく貢献。
- 新規事業であるスマート電源装置の貢献により、売上高は大幅に増加。

→売上高 259百万円(前年同四半期比61.2%増)

◆ 商品(自社製品関連)

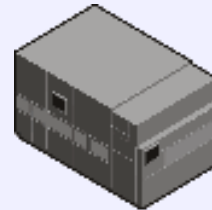
- 自社製品関連商品は、大口受注の減少により、売上高は大幅に減少。

→売上高 24百万円(前年同四半期比45.1%減)



◆ 半導体製造装置関連分野(受託製品)

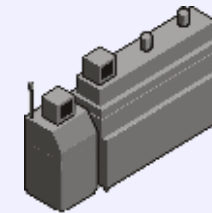
- 大手半導体メーカーのLSI微細化が続き、最先端の半導体製造装置への設備投資が一部で再開されたが、全体的な回復に至っておらず、売上高は大幅に減少。



→売上高 507百万円(前年同四半期比48.1%減)

◆ 産業用制御機器分野(受託製品)

- 各種の産業用装置の受注は堅調に推移したが、社会インフラ関連が引続き低迷し、売上高は減少。

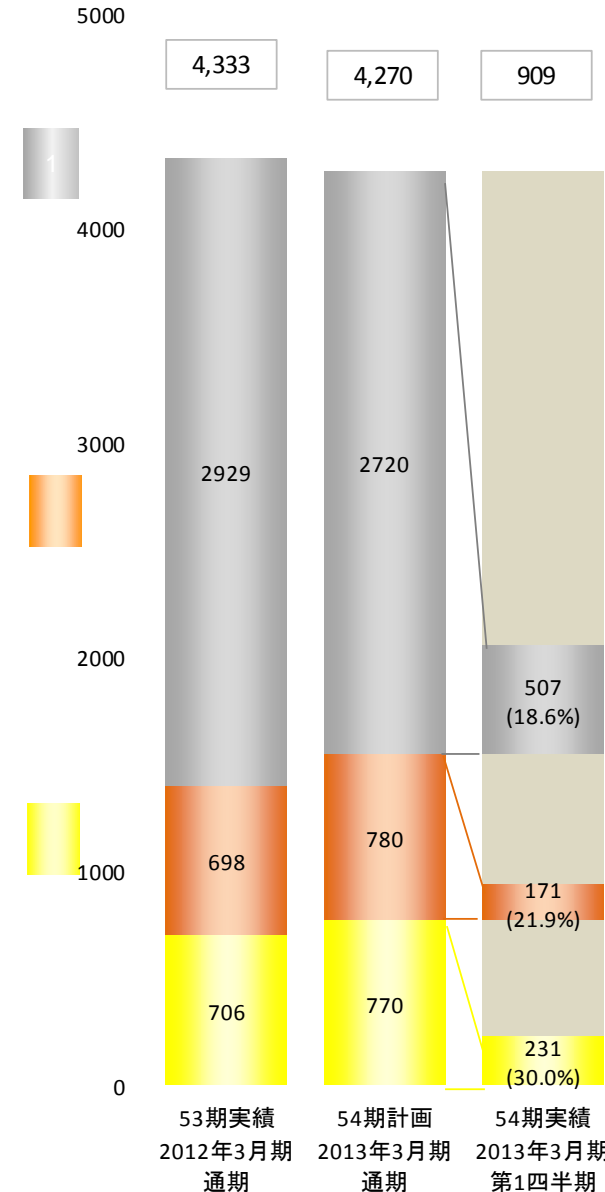


→売上高 171百万円(前年同四半期比2.5%減)

◆ 計測機器分野(受託製品)

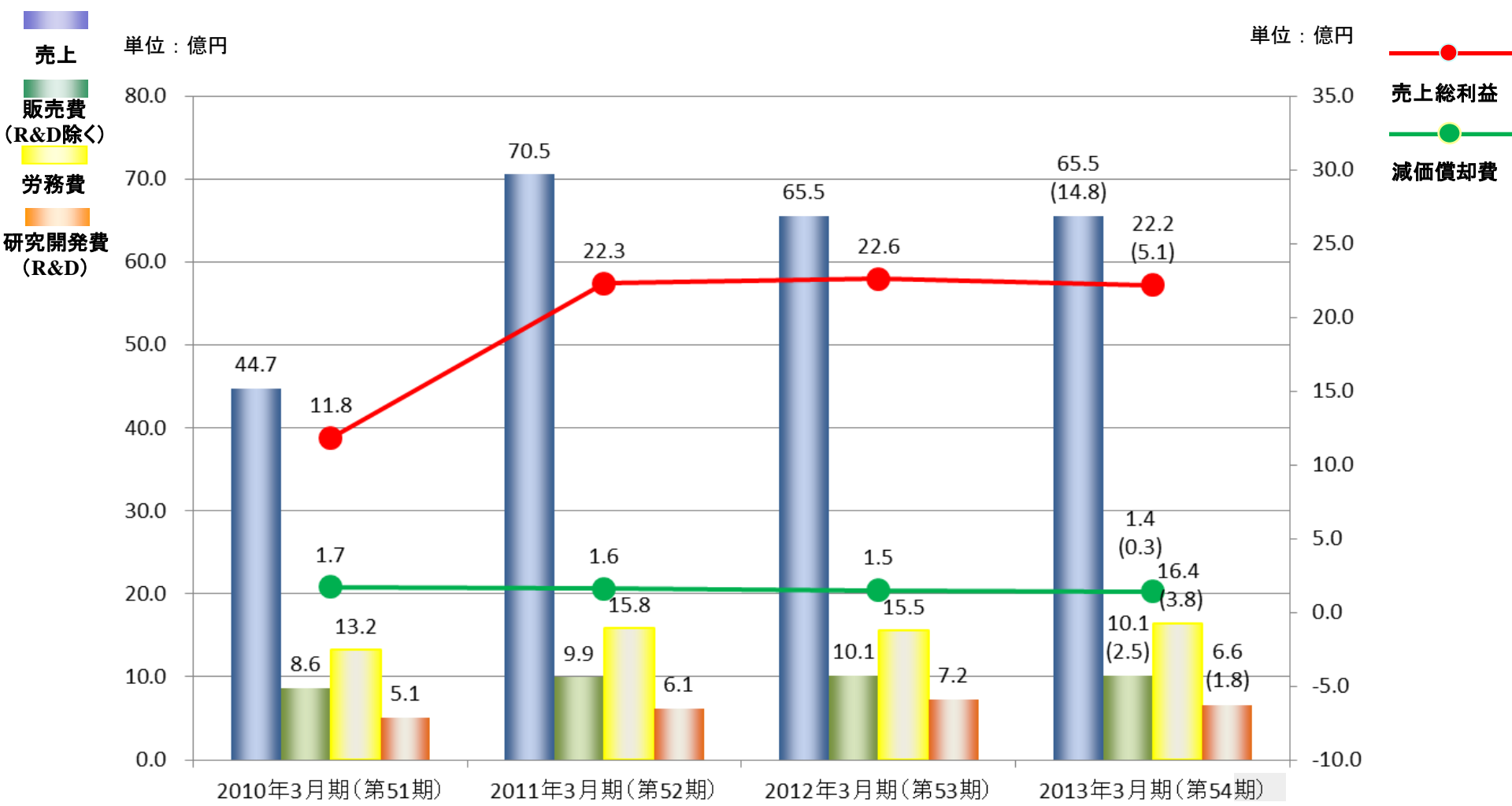
- 主力の電力関連機器全般が堅調であることに加え、各種計測機器の受注が好調に推移し、売上高は大幅に増加。

→売上高 231百万円(前年同四半期比31.1%増)



2013年3月期 第1四半期 業績（経営成績）

2010年3月期(第51期) - 2013年3月期(第53期) 計画と実績

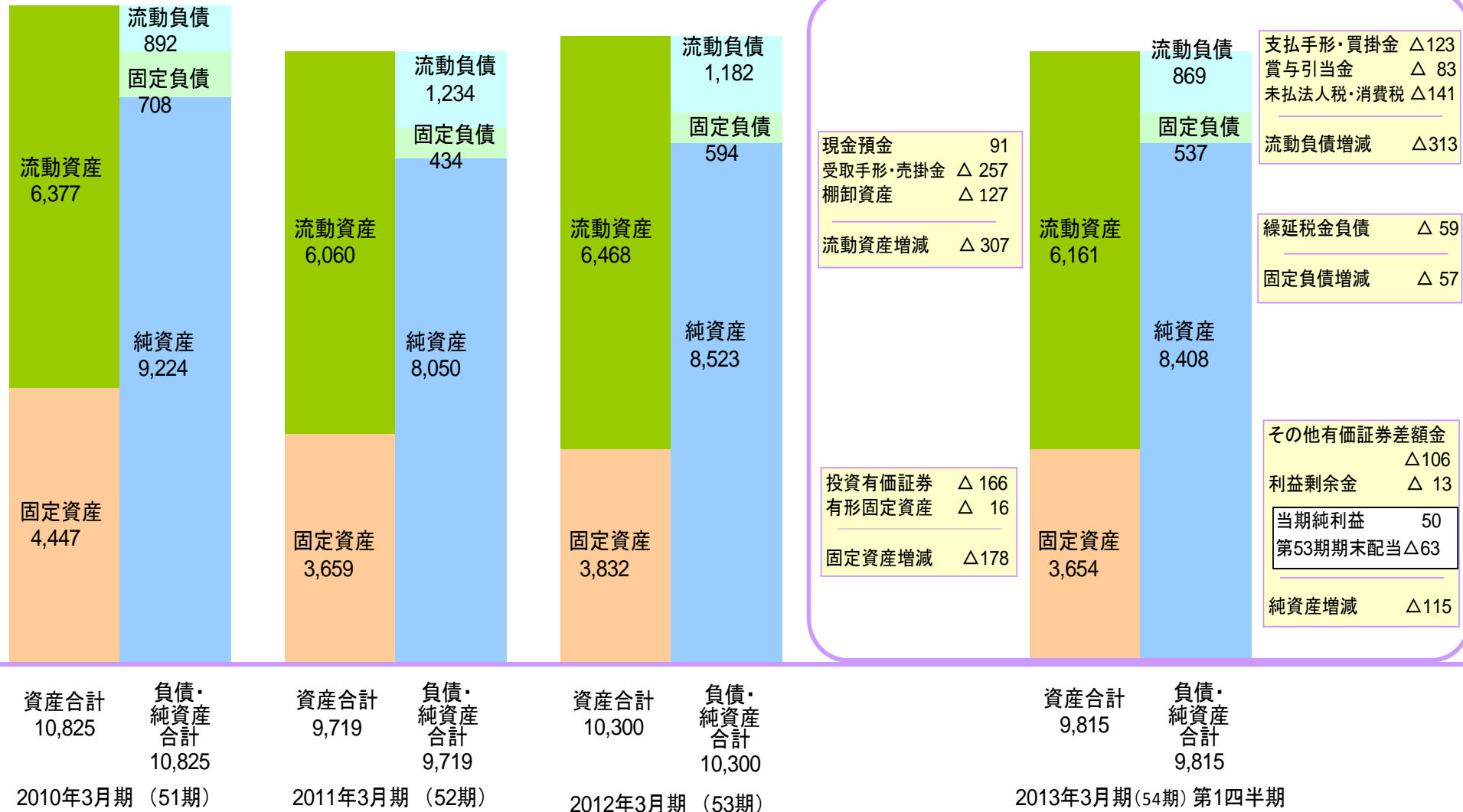


上段：計画
下段：(実績)

2013年3月期 第1四半期 業績 (財政状態)

2010年3月期(第51期) - 2013年3月期(第54期) 第1四半期

単位(百万円)



より高速に、より精細に

既存製品のさらなる機能強化と拡張

組込

Intel 超高速MPUボード シリーズ化

APC-134 シリーズ



画像

高速・低コスト版のキャプチャボード

APX-3302 APX-3323



次世代カメラインターフェース シリーズ化

CorX-Press対応 APX-3662/-2



通信

更なる高速アップ・ローコストシリーズを実現

(16Gbit/秒)

APX-782 AGM-782

APX-941 LP4



新規分野への挑戦

Opt-C:Link

光 I/F グラバード Opt-C:Link

カメラとグラバードを光で接続

アナログ⇔デジタル変換

高速アナログ⇔デジタル変換ボード

ADM-414EX シリーズ化

DAM-516



スマートグリッド



インテリジェント電源 大容量 シリーズ化

スマートパワーシステム



その他

スマートラインセンサーカメラ AMLシリーズ

AML-1681

画像分散システム

ASI-1300

FPGA-IPライブラリ

(PCIe-Gen2、DMA、etc.)

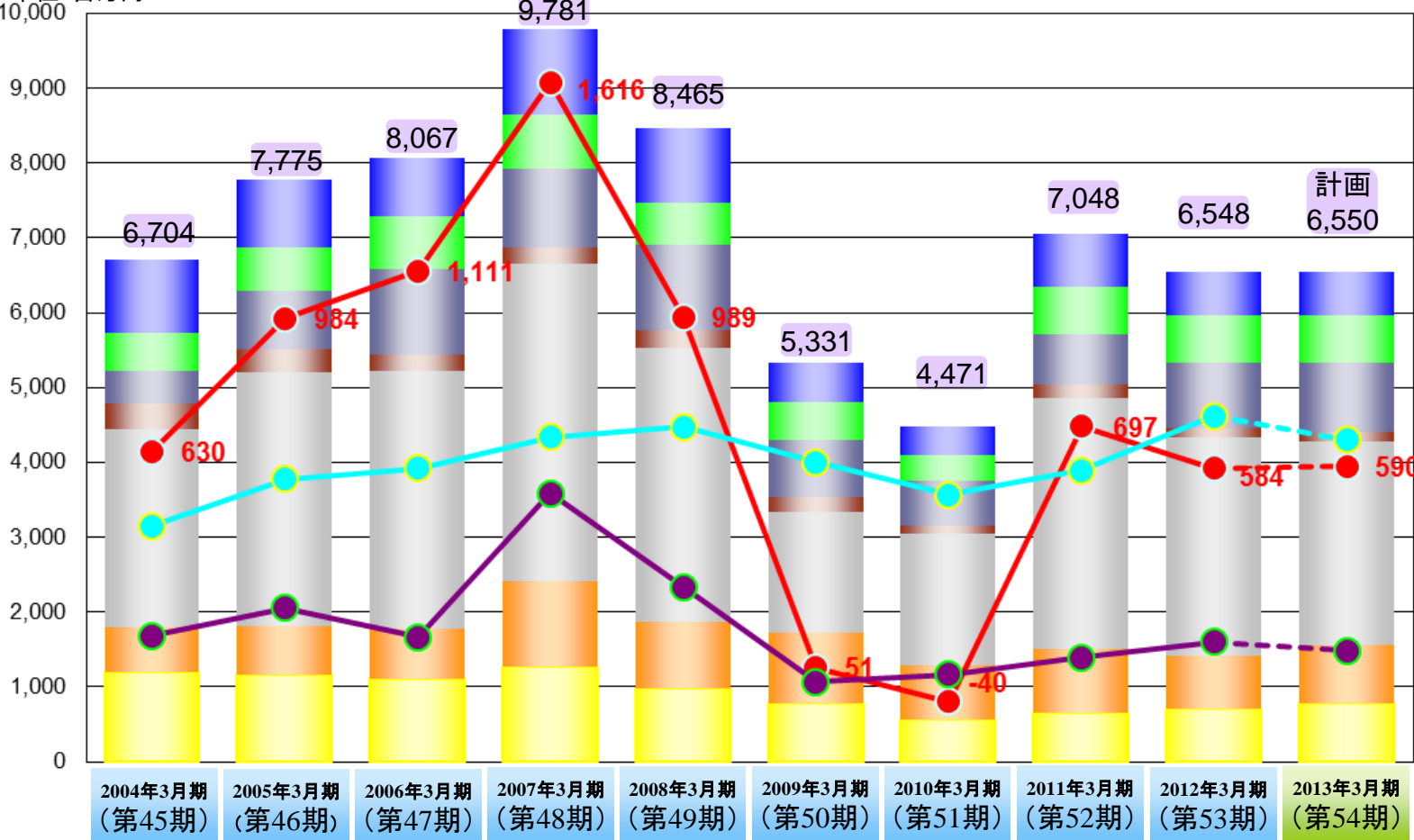


売上・利益・経営指標の推移—実績と予想

2004年3月期(第45期) — 2013年3月期(第54期:予想)

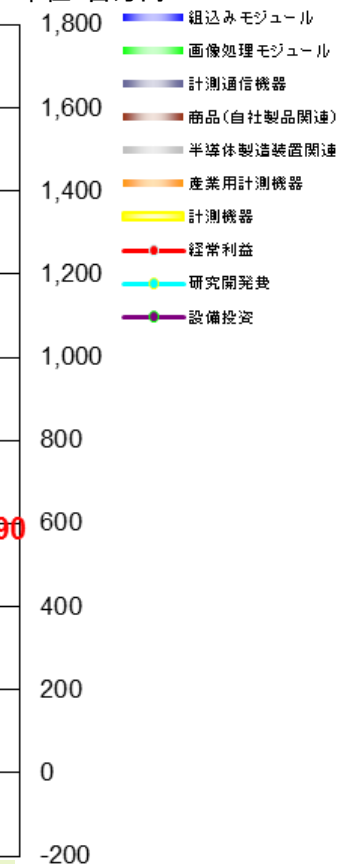
売上

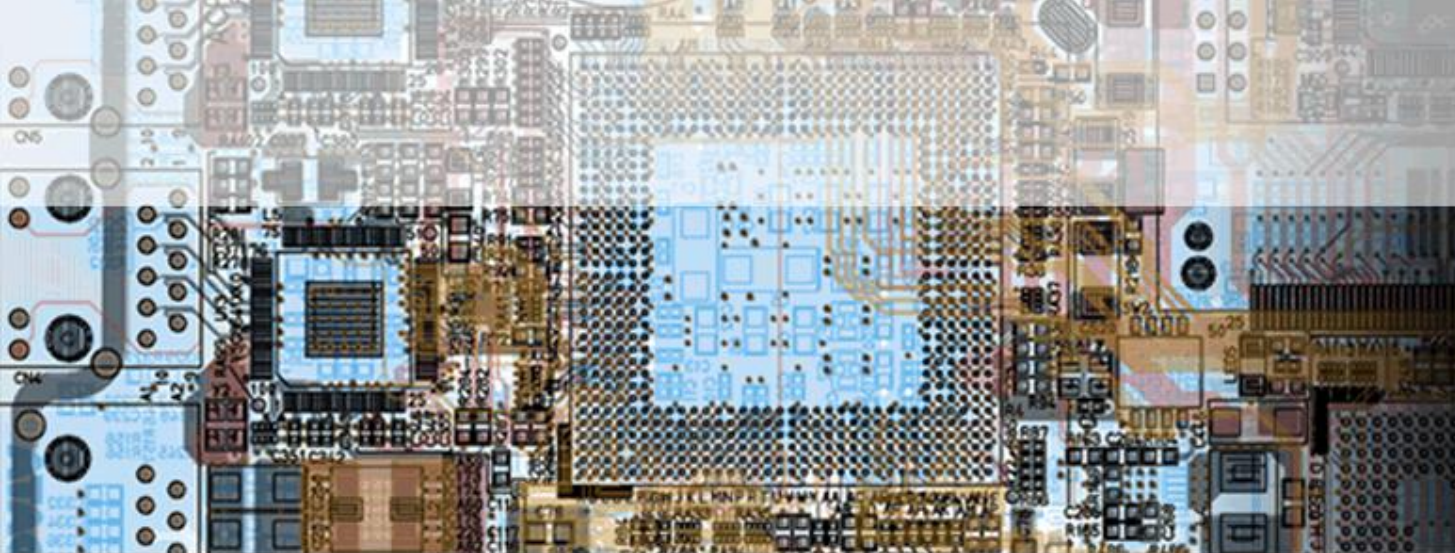
単位:百万円



経常利益

単位:百万円





2012年中期経営計画概要

2013年3月期(第54期)－2015年3月期(第56期)

AaA

actionandachievement

実行と実現

中期経営計画 成長のシナリオ(強いアバールGへ)

市場回復と予想される組込市場の変化への対応(激変する市場環境への対応と飛躍)

差別化された 新製品



高速アナログ

スマートカメラ

パートナーとの 協業

販売提携

海外戦略

技術提携

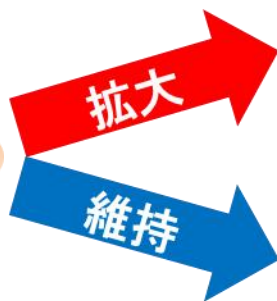
新しい戦略製品



テラストレージ

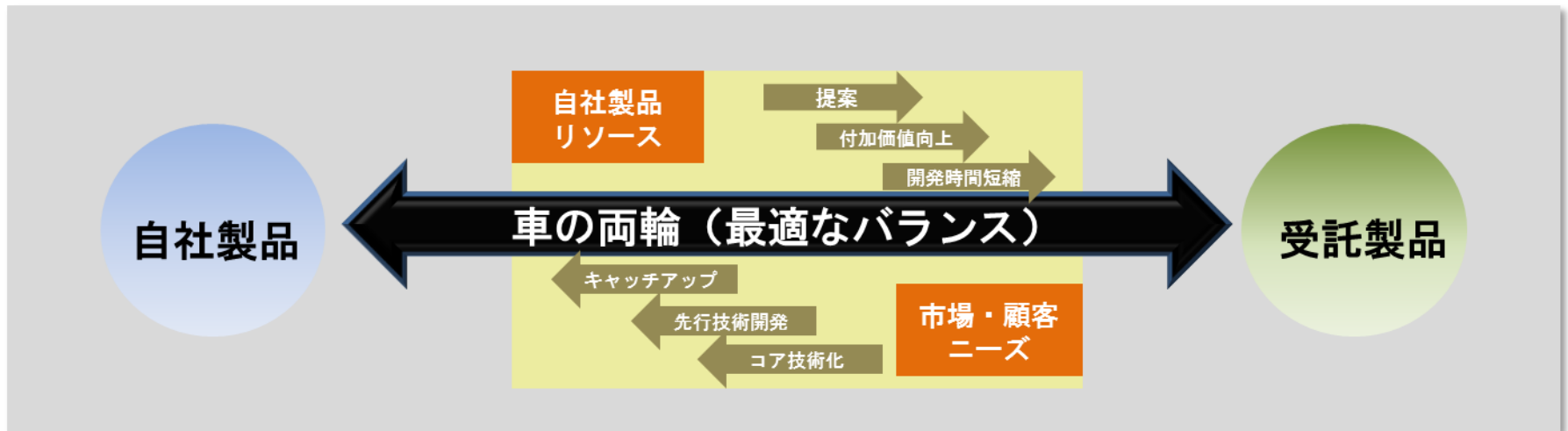
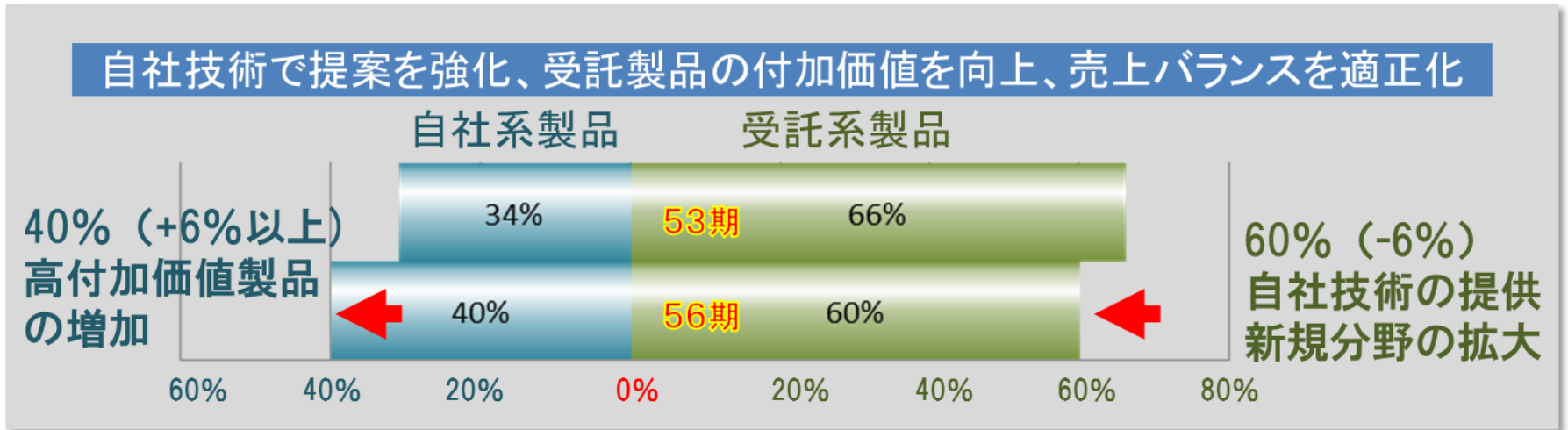
スマート電源

強い体質
強い財務基盤



中期経営計画 事業戦略

製品競争力・収益性を強化、「実行と実現力」で目標を達成！



景気回復時の業界変革での飛躍

成長事業の確立

- 差別化された強い製品
- 新分野と新製品の売り上げ向上

強い体質強化

- 変化を捉える組織が「進化」
- 積極投資と固定費の最適化

生産性の最大化

- ARP・Expressで生産性向上
- 業界トップの品質とコスト追求

自助努力による年成長率

10%
以上/年

AaA

actionandachievement

実行と実現

AVALue⁺
強い体質を維持・攻めの経営へ

連結売上

85億円

経常利益率

14%以上

ROE

10%

連結配当性向

30%

中期品目別売上・利益予想

2013年3月期(第54期) — 2015年3月期(第56期) 連結・個別

売上

単位: 百万円

経常利益

単位: 百万円

10,000

1,600

9,000

1,400

8,000

1,200

7,000

1,000

6,000

800

5,000

600

4,000

400

3,000

200

2,000

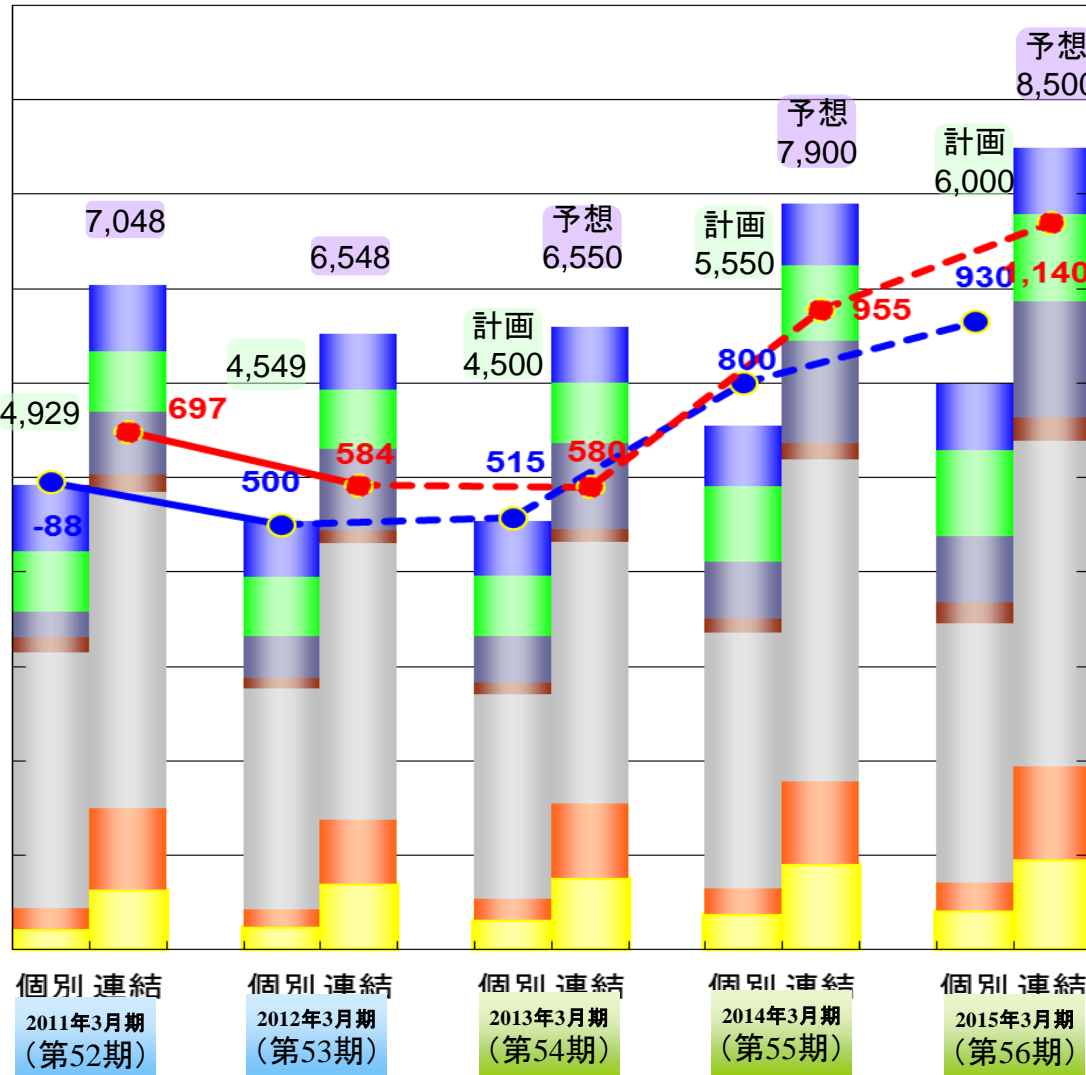
0

1,000

-200

0

-400



連結売上
85億円

経常利益率
14%以上

- 組込みモジュール
- 画像処理モジュール
- 計測通信機器
- 商品(自社製品関連)
- 半導体製造装置関連
- 産業用計測機器
- 計測機器
- 経常利益: 個別
- 経常利益: 連結

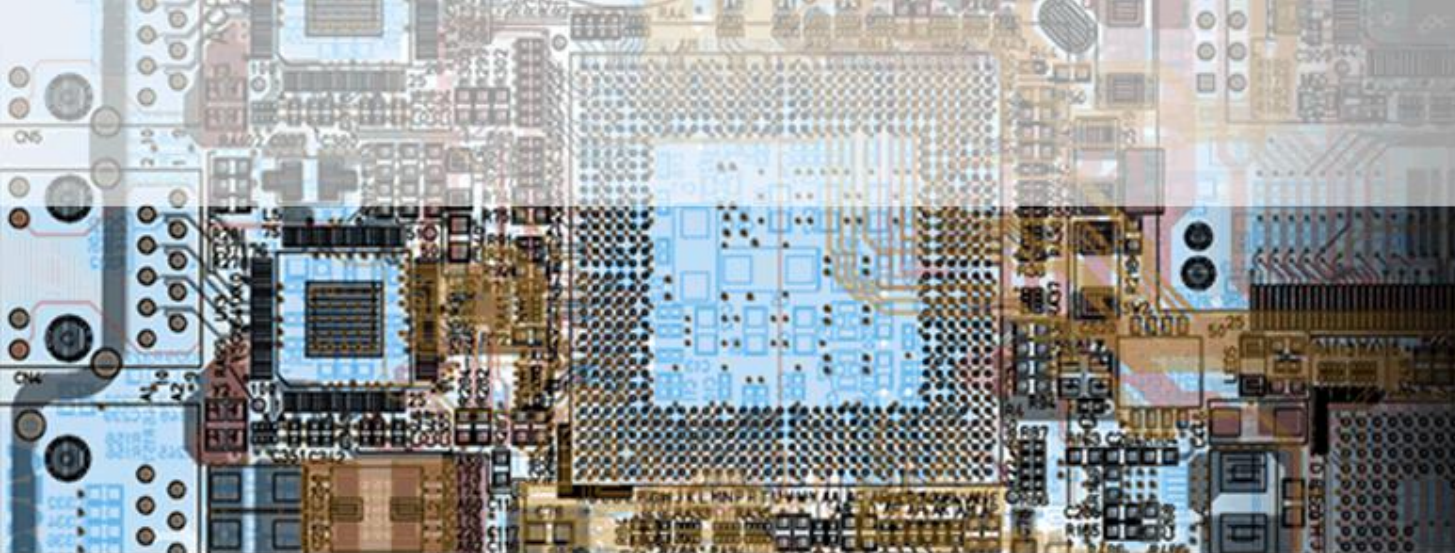
実績

AVAL DATA CORPORATION



本資料に掲載されている当社の現在の計画、見通し、戦略、確信等は、本資料発表日現時点において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に関わる仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって予測数値とは異なる可能性があるため、本資料のみに全面的に依拠することは控えていただきますようお願い申し上げます。

また、本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、ご自身のご判断において行われますようお願い申し上げます。



2013年3月期(第54期) 第1四半期説明会 参考資料

[期間:2012年4月1日-2012年6月30日]

参考資料

2013年3月期第1四半期業績(個別)

半導体/液晶製造装置市場と当社売上高

2013年3月期 第1四半期業績(個別)

単位:百万円(百万円未満四捨五入)

項目		第54期2012年4-6月期 (第1四半期)実績		第54期2012年4-9月期 (第2四半期累計)計画		第54期2013年3月期 (通期)計画	
セグメント	品目	売上	前年同期 増減率	売上	前年同期 増減率	売上	前年同期 増減率
自社製品	組込みモジュール	115	-40.6%	280	-20.4%	580	-2.9%
	画像処理モジュール	170	-5.6%	300	-9.3%	640	2.2%
	計測通信機器	139	29.9%	250	6.5%	500	13.3%
	自社製品関連商品	22	-47.9%	60	-10.5%	120	8.8%
	小計	446	-14.7%	890	-9.6%	1,840	3.7%
受託製品	半導体製造装置関連	388	-52.8%	1,010	-17.9%	2,120	-9.1%
	産業用制御機器	15	-69.6%	90	-8.4%	220	15.6%
	計測機器	111	119.0%	160	38.1%	320	27.9%
	小計	514	-44.3%	1,260	-12.8%	2,660	-4.1%
売上合計		960	-33.6%	2,150	-11.5%	4,500	-1.1%
営業利益		50	-77.9%	200	-30.7%	470	8.7%
経常利益		82	-69.4%	230	-31.7%	515	3.1%
当期純利益		50	-73.9%	146	-42.6%	330	-11.8%

2002年3月期(第43期) - 2015年3月期(第56期)

